



高槻・五領の環境と
子どもの未来を

守る会 News

発行：高槻・五領の環境と子どもの未来を守る会



資源リサイクル施設 (梶原)

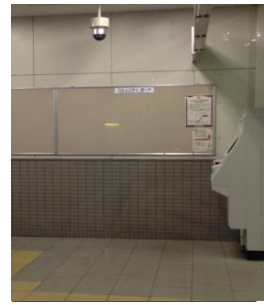
公害対策工事の期限が、また、延長されました。

完成予定は、3月末だそうです。

本気で完成される気はあるのかな？

被害を受けている人の気持ちをどう思っ
ているのでしょうか？

阪急上牧駅広報板 “コミュニティボード”



阪急上牧駅構内に“コミュニ
ティボード”という広報
板が設置されています
地域の情報発信に利用さ
せて頂けるようですので
掲示物に注目しましょう。

図書館をつくる会 “蚤の市” 出店のご報告

去る1月28日、一乗寺境内(梶原二丁目)で行われた“西国よしあし街道蚤の市”に、「上牧・五領地域に図書館をつくる会」も出店を決めましたところ、皆様のご協力により、絵本・書籍、手作り品、日用品など、たくさんの物が集まりました。寒い中を運搬、販売など大変お世話になりありがとうございました。また、一乗寺さんが境内を快く提供して下さいたことに感謝しております。お蔭さまで私たちの売上額は、33100円もありました。ここにご報告し厚くお礼申し上げます。用途としましては、上牧・五領の住民がこれからの時代に求める新しい図書館づくりのための活動費とさせていただきます。

今回の催しに至るまでを振り返ってみますと、ことの起りは一昨年(2016年)の6月、山手町の内山幸子さんが西国街道・梶原の「たけのこ文庫」に立ち寄られたことから始まりました。玄関ホールに並んだ本が彼女を招き寄せたそうです。文庫でのおすすめ本や子ども・大人・周囲環境との出会いが、2017年には、近くの旧安田邸での、四季ごとのフィールドワークへの展開となりました。あとで解かったのですが、内山さんはアートマネージャーとして活躍されており、五領地域の自然環境や、歴史ある街道に注目し、人のつながりやアートのちからで、地域がもつ魅力の再発見、再創造をめざすプロジェクトを企画されていたのでした。折しも産廃炉反対運動が実を結び、そこで生まれた人と人のつながりが、今回のアートプロジェクトに協力する原動力になってゆきました。札幌在住の若手アーティストの深澤孝史氏と共に、新名神工事により変貌するヨシ原と高速に対する低速のイメージによる“よしあし街道”は、冬の淀川河川敷で協力者たちとの協働作業を経て、長年シャッターのおりていた旧後藤商店で、“よしあし編み”を“実現させたのでした。驚く住民が声をかけたり、子どもたちが作業のかたわらで、よしペンで絵を描いたりするなど、まさに人のつながりとアートのちからが再創造した光景でした。

“蚤の市”当日は、予想した以上の賑わいになり、人が集まるところに様々なくらしの文化が集まりました。中でも、よし笛・筆簾(ひちりき)の演奏は貴重でした。好評だった「よしあし体操」は、五領小5年生のお話し会でも再演された程でした。

今回の事業は、大阪府・大阪市共同の地域文化育成事業の一つとして、期間が限定されていたため伝えきれない困難さもありましたが、内山・深澤氏お二人のあきらめず困難さ喜びに変えていく情熱と、歩いて地域をよく知ること、人に会って思いを発信していくことの大切さを改めて思った次第です。

「守る会」の有志から自発的に始められた「野鳥観察会」や、先月の「地域の歴史を歩く集い」、そして「図書館をつくる会」もふくめ、「守る会」のしなやかな繋がりが、地域全体をこれからどのように発展させていくのか、期待のふくらむ思いです。

2018年2月24日
上牧・五領に図書館をつくる会 世話人 Y.O



蚤の市
図書販売
コーナー

“防災講演会” で学んだ事

奥村与志弘 関西大学社会安全学部准教授

教訓として書かれている事を実行に移すことが「教訓を生かす」事だと勘違いしていた。さまざまな文献に記されている教訓は、それを書いた人々が教訓だと考えた事です。将来経験するかもしれない災害にどう備えるか、それは自分の責任で自ら判断しなければなりません。

過去の教訓を正しく知っておく事が大切。教訓は借りることが出来ない。自分の頭で紡ぎだす必要がある。と講演されました。

今でも23年前と状況は何ら変わっていないそうです。

神戸の震災時、地震発生14分以内に53件の火災発生。消防車は最大同時4件しか対応できない

神戸震災では初期消火が出来なかった。理由：がれきの下の人の救助を優先したから。

神戸では延焼が広がりました。

→ あなたならどうする？
答えを用意していますか？

西国よしあしちぢー街道・蚤の市

五領アートプロジェクト

美術家・深澤孝史さんを招へいし、「西国街道に立ち止まるためのもう一つの“道”を作る」アートプロジェクトを約4ヶ月間にわたり実施しました。12月より上牧・鶴殿のヨシ刈りと合計50mの葦簀を編み、淀川～梶原の新名神高速道路の真下にはしる“道”に見立て、1月28日には西国街道の一乗寺で蚤の市をひらきました。当日は、高槻や島本からの出店者27組約40名、箏演奏やヨシ笛演奏などパフォーマンス3組。来場者は348名にのぼりました。



葦簀を編む作業場として、西国街道の旧後藤商店を期間限定でお借りしました。いろいろな方が立ち寄ってくださり、少しずつ活動が広まったように思います。ピッコロ保育園や和光認定こども園が見学に来て、ヨシペンで絵を描いたり、一緒に「よしあし体操」を踊りました。また、活動メンバーによって「よしパンオブジェ作り」「よしあしみくじ」などヨシにちなんだ楽しい遊びも考案されました。ダンサーの伴戸千雅子さんが振付した「よしあし体操」は、その後五領小学校でも披露され、思わぬ広がりを見せています。



2018年
1月28(日)
10～15時
場所：一乗寺
[梶原2丁目]

淀川でのヨシ刈りや葦簀編み、回覧協力、当日の運営まで、守る会会員の方々にはあらゆる面で助けていただきました。地域のさまざまな可能性をひらこうと日々ご尽力されている皆様への敬意と、このたびのご厚意に心より感謝申し上げます。このプロジェクトをきっかけに生まれたものが、未来の五領地区の文化につながっていくなら、それは最もうれしい成果です。今後もさまざまなアーティストを招き五領地区でのアート活動に取り組んでいきたいと考えています。※出店者からのお賽銭【5,170円】は、翌日一乗寺に納めました。

記事 S.U

編集部

「守る会」は、個人会員を募集しています。会の趣旨に賛同して頂ける方であればあなたでも入会可能です。「守る会」定例会は、毎月、第4土曜日16:00～18:00、上牧公民館(上牧町本澄寺前)で開催しております。



連絡は、事務局村井 (masa569@tcn.zaq.ne.jp) 迄

発行：高槻・五領の環境と子どもの未来を守る会
代表：上田 博夫
住所：〒569-0003 大阪府高槻市上牧町1丁目3-17 上牧公民館内
電話番号：070-3300-7149

ホームページ：<https://takatsukigoryo-mamorukai.jimdo.com>